

保育園で「知産知消」をテーマとした活動を実施しました

石川農林総合事務所

管内の35歳以下の農業青年で構成される「石川農業青年会議」と石川農林総合事務所が共同で、生産者と消費者が互いに顔の見える関係となる「知産知消」をテーマにした活動を行いました。農業青年が生産した野菜や米を保育園の給食の食材として供給し、保育園児たちとの交流会を行うことで、地域の農業を知ってもらう活動を行いました。

保育園に地元食材を使った給食メニューの日（6月29日）を設定してもらい、保育園からの発注に応じて食材を納品しました。白山市内15保育園から注文があり、トマト47kg、キャベツ45kg、大豆4kg、あられ8kgを農業青年が手分けして配達しました。

また、わかば保育園と蝶屋こども園へ農業青年と事務所職員計10名が訪れ、クイズなどのレクリエーションをしながら地元産の野菜を紹介しました。その後、農業青年らは保育園児と一緒に地元食材を使った給食を食べ、園児からは「このトマトおいしい」「野菜は残さず食べてるよ」と元気な話を聞くことができました。

今後も引き続き、石川農林総合事務所では「石川農業青年会議」の活動を支援し、「知産知消」を広めていきたいと考えています。



保育園での活動の様子

問い合わせ先：石川農林総合事務所 農業振興部
(076-276-0371)